

File Reporter によるエンタープライズストレージレポート

ネットワークストレージコンテンツの急増によって管理上の大きな課題が生じています。今日の企業は、どのファイルを保存しているかだけでなく、不正アクセスから自分たち自身を保護しているかを把握する必要があります。また、ストレージインフラストラクチャが最適化されているかどうか、最適化されていない場合は、その改善のためにどのような対策を講じることができるかを把握する必要があります。File Reporter が提供するエンタープライズレベルのファイルインベントリおよびレポート機能により、Microsoft ネットワークと 365 クラウドストレージを最適化して効率性とコンプライアンスを確保できます。

製品の概要

OpenText™ File Reporter は、Microsoft ネットワークファイルシステムと 365 クラウドアプリケーションライブラリのインベントリを作成し、ネットワークと Microsoft 365 クラウドアプリケーションストレージの最適化や保護に必要な詳細なファイルストレージインテリジェンスを提供して、効率性とコンプライアンスを確保します。エンタープライズレベルのレポート作成を目的として設計された File Reporter は、ネットワークストレージデバイスや Microsoft 365 クラウド (OneDrive for Business、SharePoint Online、Teams のファイルを保存) に散在する数百万のファイルやフォルダーのデータを収集します。その中から、レポート、フィルタリング、照会の柔軟なオプションにより、必要なデータを正確に検出します。このデータは、コンプライアンスの証明や、是正措置の実施に役立ちます。

File Reporter では、Microsoft ネットワークまたは 365 クラウドアプリケーションライブラリに保存されているファイル、機密情報へのアクセス権を持つユーザー、ファイルのサイズ、ファイルの最終アクセス/変更日時、重複ファイルの場所などを特定できます。

さらに、File Reporter はストレージコストの計算に役立ちます。また、フォルダーへのアクセス権とそこに含まれるファイルへのアクセス権の特定も可能です。

主なメリット

File Reporter には、他のネットワークレポートソリューションにはない機能やメリットが多数あります。

エンタープライズレポート

レポート作成を個々のストレージデバイスに限定する他のレポートソリューションとは異なり、File Reporter では、複数のサーバーや NAS デバイスに散在するファイルと Microsoft 365 クラウドアプリケーション (OneDrive for Business、SharePoint Online、Teams) にあるファイルについてレポートを作成できます。サーバーやライブラリごとに生成した各レポートをもとに意思決定を行うのではなく、必要な情報を1つのレポートにまとめることが可能です。

Active Directory 対応のセキュリティレポート

File Reporter は、Microsoft Active Directory および Azure Active Directory と連携して、アクセスパーミッションを確認し、レポートを作成します。

セキュリティレポートには、次のような情報が表示されます。

- Windows 共有 (すべてのサブフォルダーを含む) に直接アクセスできるユーザー
- 単一パスを介して直接パーミッションと継承パーミッションを持つユーザー

- ユーザーまたはグループのアクセスパーミッションの総合リスト
- 2 時点間で変更された NTFS アクセスパーミッション
- カスタムクエリレポートによる複数のセキュリティカテゴリ調査結果

広範なデータコンテンツ

File Reporter では、ネットワークストレージオブジェクトや Microsoft 365 クラウドアプリケーションライブラリがスキャンされて、広範な情報が収集されます。これらの情報は、File Reporter のさまざまなビルトインレポートやカスタムクエリレポートのコンテンツとして使用できます。これらの情報には、ファイルとフォルダーのメタデータ、セキュリティとパーミッションの情報、ユーザーディスククォータの情報、保存データの増加率などが含まれます。

柔軟なレポートおよびプレゼンテーションタイプ

File Reporter には、フィルタリングやプレゼンテーションの設定に対応する幅広いビルトインレポートタイプが用意されています。さらに、SQL コマンドを使用してカスタムクエリレポートを生成できます。レポートは各種標準ファイルタイプでの保存が可能です。グラフ機能を使用すると、データをさまざまなグラフ形式で表示できます。

お問い合わせ

www.opentext.com



主な特長

スキャンポリシー

File Reporter は、エージェントを介して、ストレージリソースのファイルシステムと Microsoft 365 クラウドアプリケーションライブラリを特定の時点でスキャンします。スキャンではストレージリソースごとにデータにインデックスが付けられ、これをもとにストレージレポートが生成されます。File Reporter は、指定されたスキャンポリシーの仕様に従ってスキャンを実行します。仕様には、スキャンを実行する頻度、実行する時間、問題が発生した場合に通知する担当者などが指定されます。このように File Reporter でのスキャンプロセスは自動化されるため、担当者が残業して自分でスキャンを開始する必要はありません。

レポートのフィルタリング

File Reporter のレポートは、容量がギガバイト単位に、長さが数十万ページになる可能性があります。データをすべてレポートで確認する作業は非現実的で非効率です。File Reporter

では、フィルタを使用して、指定した条件に従って表示するエントリー数を絞り込むことができます。

通知

File Reporter では、スキャンとレポートの完了や進行がネットワーク管理者に通知されます。また、スキャンの完了または失敗を電子メールで管理者に通知することも可能です。File Reporter からの電子メール通知は、OpenText™ GroupWise、Microsoft Exchange、オープンソースの電子メール製品 (Sendmail など) を使用して送信できます。

Web ベースの管理

File Reporter のすべての管理タスクは、サポートされている多数の Web ブラウザーから Web ベースのセッションを通じて実行できます。システムの設定、スキャンポリシーの定義、レポートの設定と生成に加えて、同じ Web セッションで完了したレポートの表示も可能です。

opentext™ | Cybersecurity

OpenText Cybersecurity は、あらゆる規模の企業とパートナー様を対象に、包括的なセキュリティソリューションを提供しています。予防から検出、復旧対応、調査、コンプライアンスに至るエンドツーエンドの統合プラットフォームにより、包括的なセキュリティポートフォリオを通じてサイバーレジリエンスの構築をサポートします。コンテキストに基づくリアルタイムの脅威インテリジェンスから得られた実用的なインサイトを活用できるため、OpenText Cybersecurity のお客様は、優れた製品、コンプライアンスが確保されたエクスペリエンス、簡素化されたセキュリティというメリットによって、ビジネスリスクを管理できます。